

令和三年度 入学式 式辞

新入生の皆さん、春の花が咲き誇り緑の風が薫るこの岐阜県立国際園芸アカデミーへのご入学おめでとうございます。

ご列席の保護者の方々にも、心よりお祝いを申しあげます。

本日、皆様とともに入学式を挙行できますことは、誠に大きな喜びでございます。

このたびは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため本校としても式そのものの規模縮小と時間短縮のため、来賓のご臨席もご遠慮を頂いております。

しかしながら新入生への祝福の気持ちは届けていただいているとともに、平素から本校の教育運営に多大なご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことにこの場をお借りしまして改めて厚く御礼申しあげます。

さて、国際園芸アカデミーは開校十八年目を迎え、これまで卒業生は、それぞれが生産法人、園芸卸・小売業、造園施工、公園管理などの幅広い分野において活躍してくれています。

これから皆さんが実習で扱う植物はそのものだけでは生育できません。土も水も光も肥料も必要です。しかし植物も土も水も肥料もそれだけでは、『資源』のままです。その資源を人々が求める喜び、楽しみ、癒し、そして笑顔をもたらす『資産』に換えていくために必要な能力、技能、技術が皆さんには求められます。

人も一人では生きていきません。だからこそ人との関わりに人生は大きく左右されます。私も偶然の出会いを重ねてきた訳ですが、皆さんには志を高く誇りをもって突き進むことで人生を実り豊かにしてくれる出会いを引き寄せてほしいと思います。

これから皆さんが学んでいく中では、嫌なこともたくさんあるかもしれませんが。嫌なことをただ耐え忍ぶのは「我慢」で我慢の中では「不満」が生まれます。

しかし好きなことを学ぶことのために耐え忍ぶのは「辛抱」であって、辛抱の先には「希望」があります。我慢はいずれ爆発しますが、辛抱はいずれ実ります。我慢はしないほうがいいが、皆さんが好きな花や緑を学ぶためには辛抱だったら喜んでみましょう。

また、努力をして後悔した人を見たことがありません。練習して下手になった人もいない。勉強して馬鹿になる人もいない。何かをして変わった人はいても何もしないで変わった人はいません。とにかく何かをするために先ずは一步目を踏み出しましょう。

是非、国際園芸アカデミーでの2年間を大切にして、時間を無駄にせず勉学に励んでください。そのために私たち教職員が一丸となりサポートしてまいりますので、学生の皆さんは悔いのない充実した学生生活を過ごして下さい。

最後に、新生の皆さん一人ひとりが心身ともに健康で、新たな友人や二年生を始めとした多くの良き縁に出会い、有意義な学校生活を送られることを心から願ひ、私の式辞といたします。

令和三年四月十三日

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 今西 良共